

科目名	福祉レクリエーション援助技術演習Ⅱ					単位	2.0
担当教員	丹羽 丈司						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	3412

●授業のテーマ

福祉レクリエーション支援の介入技術と活動のアレンジ。総合演習

●到達目標

福祉レクリエーション支援の3種類の介入について、それぞれの特徴や活動の展開方法、介入技術・理論などについて理解する。そして、いくつかの事例を通して介入の方法を知り、実践に役立てる。また、他利用者や活動に合わせたアレンジについて学ぶ。

●学習内容(授業概要)

支援者と利用者が1対1でかかわる個人への介入技術。グループダイナミクスを活かした介入技術。レクリエーション活動への参加を促す環境づくりの方法、の3種類の介入技術を学ぶ。また、対象やレクリエーション活動を活動分析によってアレンジする方法についても学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 個人への介入技術(1)介入の構造とラポール構築のための技術や態度
2. (2)支援者の介入と利用者の行動変容
3. 楽しみの接近法(1)ニーズや資源と結び付けて
4. (2)回想法や園芸療法などを活用して
5. グループの交流を活かした(1)いくつかの理論
6. (2)グループの相互作用とCSSプロセス
7. (3)プログラムの流れと事例
8. レク自立に向けた介入技術(1)社会参加の形態と社会資源へのつなげ方
9. (2)地域のイベントや交流事業から生きがい活動まで
10. 活動分析・アレンジのポイントと事例
11. 個人へのレク支援プログラム(1)高齢者分野でのプログラム作成と発表
12. (2)障がい者・児分野でのプログラム作成と発表
13. (3)乳幼児や子育て支援でのプログラム作成と発表
14. グループレク支援プログラム(1)高齢者分野でのプログラム作成と発表
15. (2)障がい者・児分野でのプログラム作成と発表

●準備学習・事後学習の内容

教科書の事例について、『介入のカギ』について、自分なりの方法はないか考える。

●成績評価方法・基準

発表 40%、提出物 40%、平常点 20%。

●テキスト(必携)

書籍名：楽しさの追求を支えるための介入技術

出版社：中央法規 日本レクリエーション協会監修

●参考文献／その他
授業時に指示する。

●履修上の注意

提出物の整理をしっかりする。